

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)活用事業の評価結果

No	①	②	③ 事業費 (実績値) 単位:円	④					⑤	⑥		⑦	
	交付対象事業 の名称	交付対象事業の概 要		本事業における重要業績評価指標(KPI)					本事業終了 後における実 績値	外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後につい て	
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果(対KPIを基本に判断) A:目標とする成果が得られた。 B:概ね目標とする成果が得られた。 C:目標の半分程度の成果が得られた。 D:目標とする成果があまり得られなかった。 E:目標とする成果が得られなかった。	有効性 A:目標達成に有効な事業といえる。 B:目標達成に有効な事業とはいえない。	今後の方針	今後の方針の理由	
1	きみつ魅力あふ れるお店づくり 事業	【事業目的】 市内の未活用施設 (店舗・古民家等)を 地域資産・資源とし て再活用し、新たな 価値を付加するよう な催しや創業に対 する支援を行うこと により、地域経済の 活性化を図る。 【事業内容】 ①未活用店舗を活 用した取り組み(展 示会、交流施設な ど)の支援:店舗改 装費用の一部を助 成(補助率1/2、上 限10万円)。 未活用店舗を利 用して営業を開始し た事業主への支援: 店舗改装費用の一 部を助成(補助率 1/2、上限50万円)。 ②制度周知に係る パンフレット等の作 成。 ③空き店舗・空き家 を活用した創業支 援セミナーの開催。	1,984,460	指標①	新規出店者数	10	件	H28.3	1	D評価 ※複数人で評価し、最も多かったものを採用。	A評価 ※複数人で評価し、最も多かったものを採用。	事業内容の 見直し(改 善)	支援制度を用意するだ けでは不十分であるた め、追加の取組を加え る形で事業内容を見直 し、継続実施することと する。
				指標②						主な意見等 ・市の融資制度(独立開業資金)活用予定者に対し、地元の金融機関を通して 制度周知を実施してはどうか。公庫においても窓口相談の段階で周知を行う ことは可能。 ・創業塾卒業者に君津市の財源を活用し、メリットを付与するような仕組み作 りはできないか。例えば、創業塾出身者は優遇の上乗せ等。 ・「空き店舗等を活用した創業支援」について、事業目的が「創業支援事業計 画の策定」と「経費の補助」とされているが、そもそも空き店舗の状況調査・意 向調査・創業ニーズ調査・市場ニーズ調査をどれくらい行っているのかが分か らない。そうした基盤・実態調査をしないで、計画の策定と経費の補助を行っ ても、「成果」を期待するところまでたどり着けないのではないか。			
				指標③						・創業のための支援という制度ありきではなく、まずは君津市において何が創 業となりうるのか、いかなる地域資源の活用が地に足のついた創業につなが ると考えられるのか、いかなるターゲット層にどのようなレベルのセミナーを開 催するのか、それが次なるステップとしてどこまで意味を持つのか、十分な説 明がない。			
				指標④						・空き家のデータベースをGISで作って、ニーズがあれば、マッチングするとい うような取組が必要ではないか。 ・国道ロードサイドと君津駅前の顧客動態等把握の必要があると思われるた め、コンサルを入れる等の対処が必要であると思料する。 ・今後は、成案化に至らなかった11件の理由を掘り下げ、改善に繋げて頂き たい。 また、周知方法も若者を意識した方法を追加すべきではないかと思います。			
				指標⑤						・同様の取り組みを、他の市町村でも行っているのので、君津市内で創業する優 位性、将来性を一層アピールする必要がある。 ・セミナーを受けた後は、かなり丁寧な伴走支援がなされないと、地域での創 業というところまでは難しいと思われる。 ・本事業のもっと手前において、どのような創業・空き店舗活用が君津市にふ さわしいのか、しっかり検討することが必要と思われる。			

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)活用事業の評価結果

No	①	②	③ 事業費 (実績値) 単位:円	④				⑤	⑥		⑦		
	交付対象事業 の名称	交付対象事業の概 要		本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了 後における実 績値	外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後につい て		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果(対KPIを基本に判断) A:目標とする成果が得られた。 B:概ね目標とする成果が得られた。 C:目標の半分程度の成果が得られた。 D:目標とする成果があまり得られなかった。 E:目標とする成果が得られなかった。	有効性 A:目標達成に有効な事業といえる。 B:目標達成に有効な事業とはいえない。	今後の方針	今後の方針の理由	
2	きみつ食の彩り プロジェクト	【事業目的】 本市の持つ豊かな 自然環境の中で育 まれた、地域食材 や食文化などの地 域資源を活用しな がら、「食」のブラン ド化を創出すること により、地域経済の 活性化と地域イメー ジの向上を図るとと もに販路拡大、生産 体制の確立により 収益モデルを構築 し、新規就農者の増 加促進、イメージ定 着による観光客の 増加などをめざす。 【事業内容】 ①地域食材等の資 源を活用した、メ ニュー開発から販 売促進に係る今後 の方針を策定する。 ②地域食材を活用 した本市ならではの 商品開発を行う。 ③販売促進も兼ね た開発商品のPRイ ベントを開催する。 ④安全で安心な君 津ジビエを供給する ために、「君津市野 生獣肉処理衛生管 理マニュアル」を作 成する。	9,792,285	指標①	新商品開発件数	3	件	H28.3	6	B評価 ※複数人で評価し、最も多かったものを採用。	A評価 ※複数人で評価し、最も多かったものを採用。	事業内容の 見直し(改 善)	試作品段階にあるもの 等、商品開発にまで 至っていないものがあ ることやブランディング には開発後の取組こそ が重要であることから、 見直しを加え継続実施 とする。
				指標②	イベント来場数	500	人	H28.3	2000	主な意見等 ・新商品は開発しただけでは意味がなく、販路の確保を図ることが必要。 ・食肉等加工業者を通して君津産のジビエを全国発信してはどうか(公庫はア グリフードEXPOで支援)。 ※アグリフードEXPO:国産農産物の展示商談会。 ・商品化のプレマーケティングとしてサイバーエージェント社の「Makuake」等を 活用してみてもどうか(購入型のクラウドファンディングを活用→メディアの有 効活用)。 ※Makuake:サイバーエージェント社が提供するクラウドファンディングサービス。 ・(都心から最も近い猟場等と銘打ち)「狩りガール」と「ジビエ料理」をセットに したツアーを組む等により、首都圏における潜在需要を掘り起こしてみてもど うか。 ・商品開発まではある程度進んでいくと思われるが、販売のためにいかなるス テップを踏んでいくのか、その過程において行政としてはいかなる支援をする のか、成果を創出するための具体的手法が望まれる。 ・最終的に商品が売れて域内経済が活性化することが目標であり、そこまで 市として関与をお願いしたい。 ・単発のイベントで終わらないよう、継続的に君津市に人を呼び込める活動に する必要がある。 ・「農商工」「産官学」などの連携を市が誘導し、より多くの特徴ある商材を開発 すべき。			
				指標③									
				指標④									
				指標⑤									

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)活用事業の評価結果

No	① 交付対象事業 の名称	② 交付対象事業の概 要	③ 事業費 (実績値) 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了 後における実 績値	⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後につい て		
				指標	指標値	単位	目標年月		実績値	事業効果(対KPIを基本に判断) A:目標とする成果が得られた。 B:概ね目標とする成果が得られた。 C:目標の半分程度の成果が得られた。 D:目標とする成果があまり得られなかった。 E:目標とする成果が得られなかった。	有効性 A:目標達成に有効な事業といえる。 B:目標達成に有効な事業とはいえない。	今後の方針	今後の方針の理由
3	きみつ「風」を感じ るプロジェクト	【事業目的】 県下第2位の面積 を持ち、豊かな自然 に恵まれた本市を 自らの足で回り、風 土・風景・風習など、 様々な「風」を体感 してもらうことで君津 の魅力を伝え、交流 人口の増加及び定 住化を図り、外部か らの刺激が新たな 「風」を生む、観光 資源の活用による 地域活性化の循環 を促進する。 【事業内容】 ①豊かな自然に囲 まれた本市を自らの 足で回り、風土・ 風景・風習など様々 な「風」を体感して もらうイベントを開催 し、観光PRを実施 する。 ②観光名所に加 え、自転車で市内を 回るために必要な 食事・休憩所などの 情報を盛り込んだ 「新しい君津の観光 マップ」を作成し、自 転車の利用にかか る観光客へのアシ ストを行い、観光振 興を図る。	3,912,480	指標①	イベント来場数	500	人	H28.3	900	B評価 ※複数人で評価し、最も多かったものを採用。	A評価 ※複数人で評価し、最も多かったものを採用。	事業内容の 見直し(改 善)	インGRESの公式イベン ト実施については比較 的高評価であるもの の、「風」を感じてもらう ということが、具体的 にどのような全体像を持 っているのかが分から ないといった指摘があ った。これに対し、今以 上のメニューやストー リーを後から付け加え るのは適切ではないと考 えられるため、効果の 高かったインGRESイ ベント実施にかかる費 用のみ別事業に計上す るという形で継続実施 とする。
				指標②						主な意見等 ・HPで見たがインGRES公式イベントは興味深い。但し、昨年度に行われたことを知らなかった(発信力に問題ありか。)。継続イベントとして発展させてはどうか。 ・当該イベント等を活用して、市内の旅館(ホテル)組合等と連携したプラン提供により、市内での宿泊者を増加させる取組みを行ってみてはどうか(食の彩りプロジェクトとも連動)。当該イベント参加者は発信力の強い方と想定されるため、認知度向上に寄与できると考える。 ・今大きく取り扱われている亀山の濃溝の滝なども大きくPRすべきと思われる。 ・サイクリストに来ていただきたいのであれば、サイクリストの方々が休憩したりするスポットをいかに整備するかということも重要であると思われる。そういったスポットがあれば、そこで効果(事業実施による入込客数の変化)を測定することもできるのではないか。 ・「風」を感じてもらうということが、具体的にどのような全体像を持っているのかが分からない。一定のストーリー性ととも考えていくことが望まれる。 ・イベント来場者や観光入込客数は手段であり、それを域内経済活性化、域内付加価値増大にどう生かすかが課題である。域外からの来訪者は、特定の自治体に来るのではなく「当地域」に来るのであることから、近隣市等との連携を行った方が有益ではないか。 ・単発のイベントで終わらないよう、継続的に君津市に人を呼び込める活動にする必要があると感じます。			
				指標③									
				指標④									
				指標⑤						・市内は過疎地ほど風光明媚で伝統的な風習や伝統芸能が残っている。受入体制と呼び込み方法を検討し、新しい農村型ビジネスモデルを創造すべきと考える。 ・亀山湖、三島湖を活性化し、併せて美しい田園風景などの魅力をPRし、若者の移住・定住につなげるべきと考える。 ・「新しい君津の観光マップ」とあるが、どのような情報を集め、誰に対してどのように活かしてもらおうと考えているのか、説明が不十分である。			

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)活用事業の評価結果

No	①	②	③ 事業費 (実績値) 単位:円	④				⑤	⑥		⑦		
	交付対象事業 の名称	交付対象事業の概 要		本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了 後における実 績値	外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後につい て		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果(対KPIを基本に判断) A:目標とする成果が得られた。 B:概ね目標とする成果が得られた。 C:目標の半分程度の成果が得られた。 D:目標とする成果があまり得られなかった。 E:目標とする成果が得られなかった。	有効性 A:目標達成に有効な事業といえる。 B:目標達成に有効な事業とはいえない。	今後の方針	今後の方針の理由	
4	妊娠・出産・子 育て総合支援事 業	【事業目的】 少子化の進行、家庭及 び地域を取り巻く環境が 変化する中、安心して子 どもを産み育てることが でき、子育てを地域全体 で支え、応援する社会づ くりを推進するため、妊 娠・出産、子育ての一貫 した切れ目のない支援と して、情報の提供や保育 環境整備等に取り組む。 【事業内容】 ①千葉県と連携しなが ら、子育て世代に普及率 の高いスマートフォン向 けのアプリを活用し、直 接的に情報を配信するこ とにより、妊娠・出産、子 育ての切れ目のない支 援を行う。 ②核家族化や地域コミュ ニティの希薄化が進行す る中、子育てへの関心・ 理解を高め、地域ぐるみ で子育て家庭を支える気 運を醸成していくため、 家庭的保育事業等の普 及・拡大を図るとともに 保育士養成支援等を行 い保育サービスの充実 を図る。 ③保育園利用者が日常 から緊急時まで活用でき る情報配信システムを構 築し、保育園情報や防災 情報(不審者情報など)、 感染症情報などの きめ細やかな情報伝達 により、情報の共有化、 防災体制の強化を図る。 ④良好な男女関係を築く ためのステップアップ支 援講座等を開催し、男女 共同参画社会の推進に より子育て支援を図る。	3,469,746	指標①	アプリのダウンロード数	1,000	件	H28.3	69	B評価 ※複数人で評価し、最も多かったものを採用。	A評価 ※複数人で評価し、最も多かったものを採用。	事業内容の 見直し(改 善)	「一貫した切れ目のな い支援」というには内容 が不十分であり、総合 支援の形になっていな いため、事業内容を見 直すこととした。 総合支援を1つの予算 で実現しようすると何 費に計上するのかとい う予算上の問題を解決 できないことや、既存事 業においても様々な取 組を実施しているため、 複数の事業を有機的に 連携させることで総合 支援を目指す。
				指標②	研修・講座受講者の満足度 ※ステップアップ支援関係	3以上	なし	H28.3	4.39	主な意見等 ・公庫資金等を活用して市内で保育サービス事業を営む事業者が、保育士再 就職支援研修を受講した者を雇用した場合、さらに上乘せする形で市から補 助金を支給してはどうか。待機児童の解消や働く場の提供につながると考える。 ・ポリシーをしっかりとって、妊娠・出産・子育てを一貫して支援するというた めに何が必要なかということ、表層的ではなく、根本的なところからしっかり 考えて取り組むことが必要ではないかと思われる。			
				指標③	研修・講座受講者の満足度 ※家庭的保育者研修等	3以上	なし	H28.3	4.2	・「一貫した切れ目のない支援」とされているが、そもそも妊娠・出産・子育ての 人数増加のために、関連分野が連携した根本的な底上げの取り組みがなされ ているのか、その全体像が見えてこない。 ・アプリがいかなる層に利用され、どのような変化をもたらしているのか、しっ かり検証しないと、本事業の成果をとらえていくことはできないと思われる。 ・保育関係研修やステップアップ支援講座が開かれているが、本事業におい て用いられている委託費は、その成果に見合ったものになっているとは思わ れない。子育て支援にあたって、何をどこまで進めようとしているのか、その論 脈において本事業を位置付けることが必要不可欠である。			
				指標④	メール配信システム登録件数	800	件	H28.3	899	・本施策はあくまで手段であることから、その先にある結婚者数増加や出生率 の向上等にどうつなげるかの関与を続けていくべきであると思料する。 ・メール配信数は、ユーザーに普及しており、ニーズと施策がマッチしているこ とがよくわかる。			
				指標⑤					・全体として手法が先行する事業の組み立てとなってしまうているが、まずは 目的を多角的に練り、どの段階でいかなる取り組みが必要となるか、その全 体像を改めて共有していくことが必要と思われる。				